

老健における BLS の必要性 第 3 報

～介護職員の意識変化による効果～

町田篤史¹⁾ 滝原典子²⁾ 美原恵里³⁾

- 1) 公益財団法人脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース 看護師
2) 公益財団法人脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース 看護師長
3) 公益財団法人脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース 施設長

【はじめに】

介護施設の職員では看護師の比率が低く、利用者に急変が起きた時にいつでも看護師が対応できるとは限らない。だからこそ、施設では介護職員が一次救命処置(BLS)に関わることも重要になる。

当施設では9年前よりBLSの重要性を認識し、併設病院で行われていたBLS講習会に看護師が参加していた¹⁾。しかし、看護師のみが訓練に参加したのでは十分な体制が整えられたとは感じられず、5年前より全職員を対象としたアルボース主体でのBLS訓練を実施²⁾、現在まで継続してきた。

今回、9年目をむかえたBLS講習が、実際に急変に遭遇した介護職員にどのような形で役立っているのか、その効果を検証したので報告する。

【方法】

平成19年から平成28年3月31日まで、入所施設で勤務していた介護職員43人を対象に、利用者の急変に遭遇した経験の有無について調査し、経験がある介護職員には、1)遭遇時の心理状態、2)胸骨圧迫・AED実施の有無とその手順、3)BLS講習の効果・要望について聞き取りを行った。

【結果】

利用者の急変に遭遇した経験のある介護職員は18名で、全員がBLSを実施していた。これらの経験者に対する聞き取り調査では、1)遭遇時の心理状態に関しては、冷静に対応できたのは10名、焦ってしまったのが8名であった。2)胸骨圧迫・AED実施の有無とその手順に関しては、胸骨圧迫を実施したのは17名、うち10名は正しい手順で行っていた。AEDを使用したのは2名で、正しい手順で行っていた。3)BLS講習の効果・要望に関しては、「BLS講習が始まる前は何かをしておいかなかった」「受講前は怖かったが、受講後は

少し不安がなくなった」「何をするか理解していたので、落ち着いて行動できた」「繰り返し受講することが大切だと思った」「実技設定をもう少し現実的にして欲しい」などの意見が聞かれた。

[事例紹介]

夜勤体制が介護職員2人の療養棟において、責任者の介護職員が夜勤の巡視で居室を訪れると、ベッド上で顔面蒼白な状態になっている利用者を発見した。呼吸確認できず、直ちに内線電話で別の療養棟にいる看護師に応援を要請。利用者がエアーマット使用していたため背中に板を挿入、胸骨圧迫を開始した。看護師到着後、AEDを準備すると共に胸骨圧迫30、アンビューバッグを用いた人工呼吸2の割合で蘇生術を行った。看護師が医師と連絡を取っている間は、介護職員2人で対応した。その後、すぐに併設病院の医師が到着し、利用者は病院に搬送された。

[考察]

介護職員全体の約4割にあたる18名の介護職員がBLSを必要とする利用者の急変事態に遭遇していた。その中で半数以上の職員が正しい手順で対応していたことが分かった。この要因として、第1に、BLS講習において受講者を少人数に設定し、実技を重視することで、講習内容をより実践に近くしたこと、第2に、常勤職員全員が年1回以上受講し、繰り返し学べるような体制にしたこと、そして第2報²⁾で報告したように、看護師以外の職員を講師にしたことでお互いに質問しやすい雰囲気を作り出したことなどが挙げられる。さらに、BLS講習を受けることは介護職員の不安の軽減にもつながっていることが分かった。今回の聞き取り調査により急変時の状況を具体的に把握できたので、今後の実技設定にも取り入れていきたい。

[まとめ]

看護師だけで利用者の急変に適切に対応することは、現在の施設基準に基づく看護介護体制では困難である。BLS講習は急変に遭遇したときに何をすべきか具体的なイメージ作りにつながり、介護職員の不安の軽減にも有用である。介護職員も含めて急変時の対応ができる体制を整えることは、施設のリスクマネジメントの面から重要である。今後、より実践的な講習になるように実技設定など工夫したい。

[参考文献]

1) 女屋知子他:老健における Basic Life Support (BLS) の必要性. 第18回全国介護老人保健施設大会 愛知. 10. 12. 2007

2) 五十嵐敦子他:老健で行う Basic Life Support 講習の意義. 第 24 回全国介護老人保健施設大会 石川. 7. 25. 2013

[100 字コメント]

全職員を対象にした BLS 講習会の効果について介護職員を対象に調査した。その結果、実際に利用者の急変に際して、介護職員は適切に対応していた。BLS 講習は急変時の対応の具体的なイメージ作りにつながる。

【カテゴリー】

101 入所

206 データのある「効果」の提示

C3310 医療と看護介護 その他の医療、看護介護関連